

【米豪外務・防衛担当閣僚年次協議(2022年12月6日) 共同発表文 抜粋】

Consistent with the recent Australia, Japan, and United States Trilateral Defense Ministers' Meeting commitment to advance concrete and practical security initiatives, the principals decided to enhance trilateral defense cooperation activities and invite Japan to increase its participation in Force Posture Initiatives in Australia.

「最近の米豪日 3 カ国防衛相会合における具体的かつ実践的な安全保障イニシアチブの前進を図るとのコミットメントと整合的に、閣僚は、3 カ国の防衛協力活動を強化すること、並びに日本に対してオーストラリアにおける戦力態勢イニシアチブ(FPI)への参加を強化するよう求めることを決定した。」



3. 「安全保障協力に関する日豪共同宣言」の実施

四大臣は、早急に実施すべき二国間協力を特定し、速やかに実施していくことで一致。

(1) 外交面の日豪協力

- ◆ 東南アジア、太平洋島嶼国における協力を強化していくことを確認。
- ◆ 太平洋島嶼国との間では、海上保安能力向上、インフラ整備に加え、太平洋島嶼国が抱える脆弱性を踏まえて、経済的威圧への対応を含む経済安全保障、能力構築支援を含むサイバー分野、衛星能力を活用した民生面の宇宙分野での協力の連携を強化していくことで一致。

(2) 防衛面の日豪協力

- ◆ よりオペレーショナルな日豪協力に向けて議論を深めていくことで一致。
- ◆ 具体的には、将来のF-35を含む日本の戦闘機のオーストラリアへのローテーション配備を見据えた日本のF-35による機動展開訓練、水陸両用作戦演習及び誘導弾射撃訓練等についての検討の加速等。

4. 地域情勢に対する戦略的対応

四大臣は、日豪が戦略文書見直しのプロセスを進めていることを背景に、日豪協力の方向性につき更に議論することを確認。

- ◆ 林大臣と浜田大臣から、新たな国家安全保障戦略策定のプロセスを進め、平和と繁栄を確保するため、日本の外交・安全保障面での役割を強化していく旨言及。その上で、四大臣は、日豪間の安全保障・防衛協力を更に強化していくことを再確認。
- ◆ 林大臣と浜田大臣は、AUKUSに対する日本の支持を改めて表明。
- ◆ 地域の安定にとって不可欠な日米豪の安全保障・防衛協力を力強く進めていくことで一致するとともに、日米豪印などの重層的な同志国連携について議論し、日豪が主体的役割を果たすことを確認。